

承認番号	
研究課題名	Predicting Post-Hepatectomy Liver Failure using machine learning
研究の意義・目的	肝切除後の肝不全は大肝切除術の最も重要な術後合併症による死亡の原因であります。肝切除後肝不全による高い死亡率から術前に肝不全の危険のある患者の同定には高い関心をもたらしてきました。肝切除のガイドラインでは肝容量の解析を基本とし、正常肝臓であれば残存する肝臓が20%超え、脂肪変性のあるもので30%超え、肝硬変、線維化がある場合は40%超えることが推奨されています。しかしながら、近年の予測モデルでも未だに術後肝不全の潜在的な危険性を予測することはできません。それゆえ、肝切除前に評価できるデータよりAIを用いて、肝切除後肝不全の予測モデル作成することを目的として行います。
研究を行う期間	2020年11月16日～2023年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年1月1日～2020年1月31日に大阪公立大学医学部附属病院の肝胆膵外科で、肝切除術を施行された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、手術所見、術後合併症】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関カリフォルニア大学外科に頂いた情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	カリフォルニア大学 外科 Adnan Alseidi (アメリカ合衆国) Poliambulanza Foundation 病院 肝胆膵・低侵襲外科 Mohammed Abu Hilal (イタリア) Ghent大学 消化器外科 Nikdokht Rashidian (ベルギー)
試料・情報を管理する責任者	代表研究機関：カリフォルニア大学・外科・研究代表者 Adnan Alseidi
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	所属・職名：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 担当者：肝胆膵外科学 田中 肖吾 住所：〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話番号：06-6645-3841 E-mail： m8827074@msic.med.osaka-cu.ac.jp